

大商 ニュース

12 2009
/10 (木) No.1067

編集発行 大阪商工会議所
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番8号
☎06(6944)6324
定価1部70円(送料共) 購読料は会費、負担金を含む
毎月10、25日発行
©大阪商工会議所2009

ホームページアドレス
<http://www.osaka.cci.or.jp/>

核心を聞く

日本は9月、劇的な政権交代を実現し国民は期待と不安の中にある。日本経済も最悪期は脱したとはいえ、雇用環境は一段と厳しさを増す。そうした中、4月に大阪進出を果たしたナショナル オーストラリア銀行の前日本代表グレッグ・ストーリー氏に新政権への感想と大阪活性化策を聞いた。鳩山政権には「地方主権の実現を見守りたい」とする一方、「大阪経済の復権は十分可能」と語った。

ナショナル オーストラリア銀行
マネージング・パートナー
グレッグ・ストーリー氏



——日本は自民党から民主党へ政権交代しました。知日派としての感想は。

「これから民主党が新しいパターンをつくることになるが、評価はまだ早い。官僚の影響力の調整や、地方と中央政府の関係では新政権は地方に権限と財源を本当に譲るのかなを見極

——アジア共同体構想に意欲をみせています。

「中国の立場では豪州、ニュージーランドは入っておらず、日本の立場では米、韓国も関与するなど、まず構成国を明確にしなければならぬ。個人的には、サッカーのW杯で豪州がそれまでのオセアニアグループか

時に外国人が傍にいても当たり前前の雰囲気かとても気に入る。『案外』と感じた。

96年から4年半、オーストラリア総領事館(大阪の総領事を務めたが、商売がしやすいのが関西だ。ビジネスでは興味があればやりましょうで判断が東京に比べ早い。また、仕事は仕事とし

「当行の立場で言えば最初は富裕層向けのリテールプライベートバンキングに集中する。次いで関西が強い中小企業への融資を通じて新しいビジネスの構築を目指す。ひとつは石炭・鉄鉱石の資源・エネルギー関係であり、いまひとつはIT、食品、家具、サービ

「関西は人口や企業集積でも強い基盤を持っており魅力的でポテンシャルも十分。要はタイミンクの問題だと思う。円高の是正などが進めば海外からの投資も増えるだろう。豪州の物流最大手のツール・ホールディングスがフットワークエクスプレスを買収したのが好例だ。大阪商工会議所などが大阪を海外にPRしている効果もいざれ出てくる。『石の上にも3年』の格言がある」

大阪経済の復権は十分可能

めたい。外交・貿易面ではまだ豪州と日本はFTAができていない。農業部門が懸念だが、彼らはどういった立場をとるか不明だ。ただ、新政権には自由貿易の構築と国内経済の発展に力を入れ、日本全体の経済の強さをみせてほしい」

——鳩山由紀夫首相は東

らアジアグループに入り活性化されたように豪州も入ったほうがよいと思う。EUでも相当の時間がかかった。アジアの場合さらに多くの時間がかかることを覚悟する必要がある」

——大阪・関西の印象は。

グレッグ・ストーリー氏
グレッグ・ストーリー氏はオーストラリア銀行の日本代表、91年クイーンズランド日本商工会議所会頭、01年オーストラリア総領事館(大阪)総領事、07年ナショナル オーストラリア銀行東京支店日本代表、09年同マネージング・パートナー。